

「自然と共生する世界」の実現にビジネスから貢献  
**【あさかりードタウン】を新たに**  
**ABINC ADVANCE計画段階認証として認証いたしました**

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会が運営する「いきもの共生事業所<sup>®</sup>認証(通称:ABINC:エイビंक)認証制度」では、昨年、複数の街区を超えてエリア全体で実施される取り組みを評価するABINC ADVANCE認証制度を開発いたしました。このたび、『あさかりードタウン』をABINC ADVANCE計画段階認証として認証いたしました。今回の認証を含め、認証件数は87件となりました。

本認証制度は、一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB<sup>※※</sup>)が開発した「いきもの共生事業所<sup>®</sup>推進ガイドライン」を評価基準とした第三者認証をさらに発展させたものです。本ガイドラインは、生物多様性国家戦略 2012-2020において、事業者が生物多様性に配慮した社有地の管理をすすめるための方策として紹介されており、多くの企業がこれを参考に取り組みを始めています。

今後も、工場等を評価する「工場版」、都市再開発やショッピングセンター向けの「都市・SC(ショッピングセンター)版」、集合住宅向けの「集合住宅版」、物流施設や戸建住宅団地を評価する「戸建住宅団地版および物流施設版」、街区レベルの大規模施設を評価する「ABINC ADVANCE(アドバンス)」と、幅広い施設用途に合わせた第三者認証制度を実施してまいります。今回、認証された施設は以下の通りです。

ABINC ADVANCE認証施設 名称	事業者	施設住所
あさかりードタウン	積水化学工業株式会社 東京セキスイハイム株式会社	埼玉県 朝霞市

※ いきもの共生事業所<sup>®</sup>はJBIBの登録商標です。

※※ ビジネスによる生物多様性保全において先進的、積極的な取り組みを進める企業の集まりです。

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会では、今回申請いただいた施設の取り組みを活用し、認証制度の進化に取り組みます。また、今後、ガイドライン及び認証制度の普及・啓発を担う人材の育成に力を入れ、さらに認証の適用範囲を、工場、物流施設、集合住宅、戸建住宅団地、公共施設等に拡大していくことによって、自然や地域共同体と共生する土地利用に取り組みやすい世界の実現に貢献して参ります。

認証書のロゴ



【一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)について】

生物多様性条約第10回締約国会議(CBD COP10)において採択された愛知目標および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」の実現のために、ビジネスの貢献が求められています。当法人は、「自然と共生する世界」の実現にビジネスの貢献を推進するために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体と協働して、いきものと人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的として設立されました。

**【団体概要】**

- 名称：一般社団法人いきもの共生事業推進協議会  
[英文名：Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community  
＝略称ABINC(エイビンク)]
- 設立：2013年12月25日 ■連絡先：[info@abinc.or.jp](mailto:info@abinc.or.jp) ■ホームページ：<http://www.abinc.or.jp/>
- 理事：中静 透 (総合地球環境学研究所 特任教授) <代表理事>  
森本 幸裕 (京都大学 名誉教授)  
黒田 大三郎(公益財団法人 地球環境戦略研究機関シニアフェロー)  
足立 直樹 (一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 理事・事務局長)  
原口 真 (一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 顧問)
- 監事：梶谷 修 (一般社団法人 日本環境アセスメント協会会長)

<本発表に関するお問い合わせ先>

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)事務局 事務局長：安齊 担当：渡辺・岩沢  
※事務局業務取扱い受託 MS&ADインターリスク総研株式会社 株式会社シーエーティ  
e-mail: [info@abinc.or.jp](mailto:info@abinc.or.jp) TEL: 045-228-7696